

第十五節 大正四年

大正四年度東京美術學校年報

甲 款

概況

大正四年四月八日本校豫備科及本科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス

同年同月十一日午前九時ヨリ 昭憲皇太后崩御一周年ニ付講堂ニ 御眞影ヲ奉掲シ職員生徒奉拜ノ後學校長代理ヨリ謹話アリタリ

同年九月二十一日選科入學許可者ノ氏名ヲ官報ニテ發表セリ

同年十月四日本校設置紀念日ニ付午前九時ヨリ紀念式ヲ舉行シ講話等ヲ催シタリ

同年同月二十一日正木學校長本省ニ出頭シ 天皇陛下御眞影ヲ拜授ス

同年十一月六日 天皇陛下京都へ御發輦ニ付午前六時本校職員生徒二重橋外ニ至リテ奉送ス

同年同月十日御即位禮當日ニ付賀表奉呈ノ手續ヲナシ又職員生徒一同午後三時ヨリ講堂ニ參集シ 御眞影奉拜 勅語奉誦訓話等アリテ同三十分ニ至リ 萬歳ヲ三唱シタリ

大正五年一月八日午前十時ヨリ例ニ依リテ職員生徒一同講堂ニ參集シ授業始ノ式ヲ舉ゲ 御眞影奉拜 勅語奉誦ヲ行ヒタリ

同年三月二十九日午後一時三十分ヨリ本校第二十五回卒業證書授與式ヲ舉行シ別室ニ陳列シタル卒業製作ヲ來賓ノ觀覽ニ供シ翌三十日ハ有志者ニ之ヲ觀覽セシメタリ

規程

大正四年九月六日本校生徒制服ノ襟章ヲ制定ス

同年十二月廿七日勅令第二百三十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正セラル 即本校ノ部ニ在リテハ教授「二十七人ヲ二十九人」ニ助教授「二十人ヲ二十一人」ニ改メラレタリ

大正五年一月十七日本校教務及事務分掌規程ヲ改正ス

設備

一、日本畫科標本臨時設備費

二、西洋畫科標本臨時設備費

三、彫刻科標本臨時設備費

標本ハ藝術家ヲ教養スル本校ノ生命トモ云フベキモノナリ 故ニ日本畫ニ於ケル各派ノ粉本ヲ選擇蒐集シ西洋畫ノ沿革ヲ示スタメ歐洲名家作品ノ模写ヲ系統的ニ備ヘ彫刻モ亦東西名作ヲ模造シテ教授上ノ資料參考トスルハ実ニ目下ノ急務ナリト雖從來ノ經費ニテハ到底引足ラサルヲ以テ豫算ニ計上スルカ如ク前掲ノ費用ヲ支出セラレンコトヲ切望ス

職員

本校職員ノ俸給及諸給ノ豫算ハ毎年本項ニ記スガ如ク他ノ直轄學校ニ比シテ平均額低キト從來各科増設ノ際増員ノ少キトニ職由シテ常ニ不足ヲ告グ故ニ之ヲ増加セラレンコトハ切ニ望ム所ナリ 本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授二十七人(内二人他校

ヨリ兼務) 助教教授十四人書記六人嘱託講師十六人同教員十人同醫師一人副科嘱託三人教務雇十一人事務雇八人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレバ助教教授ニ於テ一人ヲ減シタルモ嘱託講師ニ三人同教員ニ三人教務雇ニ二人事務雇ニ一人ヲ増シタリ之レ主トシテ本年度ヨリ臨時写真科ノ授業ヲ開始シタルニ依レリ
外國留學生ハ前年度末ト同ジク一人モナシ 休職員ハ前年度末ニハ二人アリシモ本年度末ハ之ヲ欠ケリ

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ状態ハ前年度ニ比シテ著シキ差違ナク新入學生モ亦同様ナレドモ健康状態ハ稍佳良ナルヲ認メタリ

本年度新入學者ハ本科百二十一人選科十二人(外ニ外國人四人アリ) 圖畫師範科十九人研究生二十四人ニシテ其入學者ノ學力ノ程度ハ本科生ニアリテハ官公立中學校卒業者五十五人(内豫備科修了者四十二人) 私立中學校卒業者四十一人(内豫備科修了者三十四人) 師範學校卒業者一人工藝學校卒業者九人工業學校卒業者十四人專門學校入學者試験檢定合格者一人選科生ニアリテハ私立中學校卒業者一人工藝學校卒業者一人府縣立工業學校卒業者一人中學校二年以上修了者三人高等小學校卒業者二人本校ニ於ケル試験檢定合格者三人東京高等工業學校卒業者一人研究生二十四人ハ孰レモ本校卒業者ノ入學シタルモノナリ
新入學生ノ年齡ハ本科生ハ最高二十六年十一ヶ月最低十八年一ヶ月平均二十三年四ヶ月選科生ハ最高二十四年九ヶ月最低十七年一ヶ月平均二十一年一ヶ月圖畫師範科生ハ最高二十六年最低二十一

年平均二十三年一ヶ月研究生ハ最高二十八年三ヶ月最低二十三年十ヶ月平均二十六年一ヶ月(孰レモ外國人ヲ除ク)ナリトス

生徒ノ入退學ハ本年度入學者ハ本科百二十一人選科十二人(外ニ外國人四人) 圖畫師範科十九人研究生二十四人再入學者二人ニシテ退學者ハ病氣退學八人家事係累退學三十九人除名三人死亡二人在學資格消滅十三人(内豫備科六人研究生七人) 放校一人轉科一人アリ 今之レヲ前年度末ニ比スレハ入學者ニ在リテハ本科ニ二十九人ヲ研究生ニ二人ヲ増シ選科ニ一人ヲ圖畫師範科ニ五人ヲ再入學者ニ四人ヲ減セリ 退學者ニ在リテハ病氣退學ニ四人ヲ増シ家事係累退學ニ二人ヲ減シ除名ニ十一人ヲ死亡ニ五人ヲ在學資格消滅ニ二人(豫備科一人圖畫師範科一人)ヲ減シ放校ニ一人ヲ増シ轉科ニ増減ナシ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ日本畫科ニ八人西洋畫科ニ二人彫刻科ニ六人圖案科ニ九人鑄造科ニ一人漆工科ニ一人圖畫師範科ニ四人ヲ増加シ又新タニ製版科ニ七人臨時寫真科ニ十二人ヲ増シタルガ金工科ニ四人選科ニ三人研究生ニ二人ヲ減少シタルヲ以テ差引四十一人ノ増加ヲ見タリ 而シテ此他ニ於テ本年度末ノ外國人ハ選科生中ニ支那人十四人アリテ昨年度末ニ比スレハ二人ヲ増セリ

本年度ノ卒業生ハ本科五十三人選科十五人圖畫師範科十六人計八十四人ニシテ前年度ニ比スレハ五人ヲ増シタリ
生徒中學業品行殊ニ優等ナルモノヲ選ヒテ特待生トシ大正四年九月ヨリ一學年ノ授業料ヲ免除シタルモノ十四人アリテ前年度ニ比スレハ一人ヲ減セリ

生徒中ノ精勤者ヲ考査シ精勤賞状ヲ授與シタルモノ三十六人アリ
 テ前年度ニ比スレハ三十一人ヲ増シタリ 圖書師範科生徒ニハ學
 資トシテ毎月金六円ツ、ヲ補給シタルモノ本年度ニ八十八人アリ
 テ前年度ニ比スレハ十六人ヲ減セリ 而シテ又此補給者以外ニ於
 テ學術優等ノモノヲ選ヒ奨勵費トシテ一ヶ月金五円ツ、ヲ支給シ
 タルモノ本年度ニハ六人アリ

大正五年三月末卒業スヘキ各本科選科生徒ノ実地修學ノタメ同四
 年四月十二日ヨリ三週間ヲ以テ教授一人囑託一人書記二人ヲシテ
 之ヲ引率セシメ京都府奈良縣滋賀縣へ出張研究ヲナサシメタルコト前年
 サシメタルコト前年ニ同シ

大正五年三月末卒業スヘキ圖書師範科生徒ヲシテ實地授業法調査
 研究ノタメ大正四年十月七日ヨリ十日間ヲ以テ教授一人ヲシテ引
 率セシメ奈良縣大阪府靜岡縣へ出張研究ヲナサシメタルコト前年
 ニ同シ

本校ハ皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテハ申報スベキ事項ナシ
 將來施設上重要ト認ムル件

陳列館新設ノ件「大正二、三年度報告と同一の文を掲げ、最後に次の
 文を付け加えている。」

本校ニ於ケル陳列館建築ノ必要ハ前述ノ如クナレトモ之ヲ建
 築セラル、ニ至ラハ其規模ニ依リテハ本省美術展覽會ニ於ケ
 ル政府買上品ノ陳列ニモ充用スルヲ得ヘシ

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ノ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモ

ノ、中重モノナルモノヲ擧グレバ左ノ如シ

依囑製作品一覽

品名	数量	受託年度	竣工未竣工別	依囑者
純銀製花瓶	壹對	前年度	竣工	東宮職
純銀製楠公坐像	壹軀	同	同	木南正宣
片岡直温銀像	壹軀	同	同	日本生命保險株式會社
梨子地御紋散蒔繪御書棚	壹架	同	同	宮内省調度寮
故佐竹侯爵銅像	壹軀	同	同	戊辰勤王記念銅像 委員長遠山規方
御化粧品入函	四個	本年度	同	伊東榮
鳳凰ニ菊模様御手箱	壹個	同	同	東宮職
銀製双鶴ノ圖置物	壹個	同	同	同
御衝立	壹基	同	同	東京市上
御文机料紙函硯函	壹揃	同	未竣工	同
銀製松桐插花	四個	同	竣工	大禮使調度部
銀製洲濱	貳臺	同	同	同
銀製網代目籠形菓子器	拾四個	同	同	同
銀製桜橋合作插花	五拾四個	同	同	同
木彫馬匹實大着色模 型	壹本	同	同	陸軍技術審査部
鳳凰置物	壹個	同	未竣工	華族會館
菊慈童置物	壹個	同	竣工	衆議院
時鐘	壹個	同	同	益田彦五郎
銀製花鉢	貳個	同	同	元大禮使典儀部
銀製花鉢	四個	同	同	元大禮使調度部